

枚方市の概要

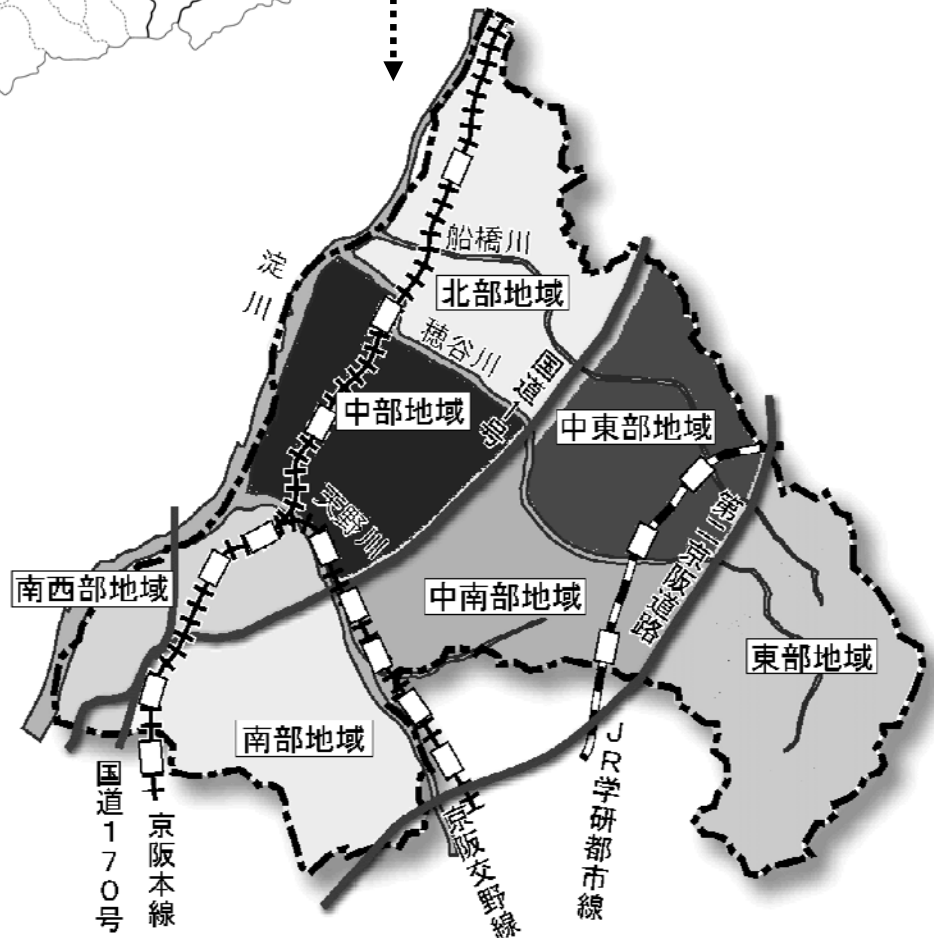
1. 枚方市の位置・地形等



○大阪府の北東部にあり、淀川左岸に位置し、京都府・奈良県と接する。

○東部は生駒山地から男山丘陵に伸びる山地、中央部は枚方台地、西部は淀川沿いの沖積低地という東高西低の地形をなしている。

○市域を船橋川・穂谷川・天野川が南東から北西に横切って、淀川に流れている。

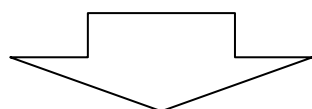


2. 枚方市のあゆみ

1947年（昭和22年）8月1日 市制を施行
人口: 41,041人 （面積: 40.62 km²）

1955年（昭和30年） 津田町と合併
人口: 59,327人

昭和40年代から、大阪・京都のベッドタウンとして人口が急増



2013年（平成25年）12月末現在
人口: 408,610人
内、男197,374人・女211,236人
世帯数: 174,419世帯
面積: 65.08 km²

- 江戸時代、淀川舟運の中継地、また、京街道の宿場町として賑わった。
- 明治29年に、陸軍の禁野火薬庫が設置され、第2次大戦中には、枚方製造所や香里製造所などが稼働する兵器製造のまちとなった。
- 明治43年に、淀川左岸に京阪電車が開通し、郊外型住宅地として発展した。
- 昭和30年代に、香里製造所が「東洋一のマンモス団地」といわれた香里団地に姿を変え、また、くずはローズタウンなどの住宅開発により、大阪・京都のベッドタウンとして人口が急増しはじめ、平成7年の国勢調査では人口40万人を超える大阪府内で4番目の都市へと成長した。
- 近年では、樟葉駅前の再開発が進められ、また、平成22年3月には、第二京阪道路が開通した。

3. 枚方市の主な特性

【学園都市】

○市内には、6つの大学(※)が所在し、約1万9000人の学生が通い、学んでいる。6大学では、歯学や医学、薬学、看護学、外国語、経営情報学、工学など専門分野に秀でた個性豊かな教育・研究活動が展開されており、本市は、「大学のまち」という性格を有している。

(※)大阪歯科大学・関西医科大学・関西外国語大学・摂南大学・大阪国際大学・大阪工業大学

【企業団地】

○市の誘致や昭和41年の国道1号開通で企業の立地が相次ぎ、枚方企業団地や枚方家具団地、津田サイエンスヒルズなど、製造業を中心とした7つの企業団地がある。

【都市ブランド】

○市内には二次救急病院である市民病院や高度救命救急センターである関西医科大学附属枚方病院が揃い、医科、歯科、薬学・看護学の大学があるなど、健康医療に関わる社会資源が充実している。また、これらの健康医療に関わる13団体によってコンソーシアム（共同事業体）を設立するなど、都市ブランド「健康医療都市」の実現に向けて取り組んでいる。

○子ども一人ひとりの力を存分に引き出せる教育環境の整備に努めるとともに、市民の創造性や心の豊かさを育む主体的な文化芸術活動を支援し、市民が夢や希望を共有できる「教育文化都市」の実現に向けて取り組んでいる。

【地域コミュニティ】

○各小学校区（45校区）において、校区コミュニティ協議会が設置されており、災害対策、子どもの安全対策、青少年の健全育成、ごみ減量の取り組みなど、地域のさまざまな課題の解決に向けて取り組んでいる。

<枚方市のシンボル>

○市の花：「菊」「桜」 ○市の木：「柳」 ○市の鳥：「川蝉（カワセミ）」

<枚方市の友好都市等>

○友好都市（海外）：「中華人民共和国 上海市 長寧区」、「オーストラリア連邦 ローガン市」、「大韓民国 全羅南道 靈岩郡」

○友好都市（国内）：「高知県 四万十市」、「北海道 別海町」、「沖縄県 名護市」

4. 中核市への移行

平成 26 年 4 月に、枚方市は、現在の「特例市」から、全国で 43 市目の「中核市」へ移行し、大阪府で行っている多くの事務や権限の移譲を受ける。

中核市とは…

大阪市や堺市などの政令指定都市に次ぐ規模の都市に対し、都道府県が担っている事務や権限を移譲し、住民に最も身近な市役所でより多くの行政を行うことができるようにした都市制度の 1 つ。

○**政令指定都市**（条件：人口 50 万人以上）

全国 20 市 *府内では大阪市、堺市

○**中核市**（条件：人口 30 万人以上）

全国 42 市 *府内では高槻市、東大阪市、豊中市

← 平成 26 年 4 月に移行

○**特例市**（条件：人口 20 万人以上）

全国 40 市 *府内では吹田市、茨木市、八尾市、寝屋川市、岸和田市、**枚方市**

【参考：全国の中核市】

□函館市 □旭川市 □青森市 □盛岡市 □秋田市 □郡山市 □いわき市 □宇都宮市
 □前橋市 □高崎市 □川越市 □船橋市 □柏市 □横須賀市 □富山市 □金沢市
 □長野市 □岐阜市 □豊橋市 □岡崎市 □豊田市 □大津市 □豊中市 □高槻市
 □東大阪市 □姫路市 □尼崎市 □西宮市 □奈良市 □和歌山市 □倉敷市 □福山市
 □下関市 □高松市 □松山市 □高知市 □久留米市 □長崎市 □大分市 □宮崎市
 □鹿児島市 □那覇市 （平成 25 年 4 月 1 日現在）

中核市への移行によって変わる業務の範囲

府が担当する業務	警察の設置など	中核市が担う業務		
	児童相談所の設置 国道及び県道の管理など	府の事務権限の約 6 割		
	保健所の設置 母子寡婦福祉資金の貸付 産業廃棄物に係る事務 初任者対象の教職員の研修など	府の事務権限の約 8 割～9 割		
	環境に係る事務など	約 1 割		
	一般市 *住民票の発行 *保育所、小中学校の設置など	特例市 (人口 20 万人以上)	中核市 (人口 30 万人以上)	政令指定都市 (人口 50 万人以上)

中核市へ移行することで、福祉、保健衛生、環境・まちづくり、教育・文化の各分野において府が担ってきた約 1800 項目の事務を新たに市が担うことになる。

分 野	中核市移行後に行う主な事務・権限
福 祉	社会福祉審議会の設置・運営 母子家庭や寡婦に対する福祉資金の貸付
保健衛生 (保健所の 運営等)	結核、新型インフルエンザなど感染症の予防およびまん延防止対策 HIV検査および性感染症の予防啓発 特定不妊治療費の助成 特定疾患(難病)対策 精神保健に関する相談 飲食店などの営業許可、監視指導 旅館業、興行場、公衆浴場の営業許可、監視指導 理・美容所、クリーニング所の開設届出の受理、監視指導 狂犬病の予防対策、負傷した動物の収容
環境・まち づくり	産業廃棄物処理業の許可、規制・指導 多量排水事業所の特定施設の設置許可 景観計画に基づく規制区域の指定、建物等の外観などに関する届出 の受理、勧告・指導 屋外広告物の許可等、屋外広告業の登録
教育・文化	初任者および経験年数等に応じた教職員の研修 重要文化財の管理状況等保存のための調査